

□ □ □ □ □ □ □ □

公益社団法人 福岡県人権研究所

“りべらしおん” No. 74 (2024/3/29)

□ □ □ □ □ □ □ □

福岡県人権研究所は 2024 年 9 月 28 日で、
前身の福岡部落史研究会創立から 50 周年を迎えます。

I <お知らせ>

(1) 教育部会

日時：4 月 13 日（土）10:00～12:00

場所：福岡県人権研究所

テーマ：「2024 年度教育部会活動計画について」

(2) ジェンダ一部会

日時：4 月 14 日（日）14:00～

場所：福岡県人権研究所

テーマ：「森崎和江『匪賊の笛』を読む学習会⑤」

「肉体のことば」をもう一度を読み、考え合います。

(3) 人権教育内容創造研究会（石瀧塾）

日時：4 月 23 日（火）18:30～

場所：須恵町アザレアホール須恵学習室

テーマ：副読本の読み込み（見本本で検討します）など

(4) 部落史部会／史・資料プロジェクト

日時：5 月 11 日（土）14:00～

場所：しじぶ交流センター

内容：未定

(5) 2023 年 9 月 25 日（月）21 時～テレビ朝日 ABEMA Prime（ネットテレビ）に川口泰司さんがご出演され、川口さんの新刊『「寝た子」はネットで起こされる！？』（福岡県人権研究所）が紹介されました。以前、『リベラシオン』144・186 号に東日本大震災被災地支援についてご執筆された片岡遼平さんもご出演されています。以下のサイトでご視聴いただけます。

https://www.youtube.com/watch?v=o0opx_QdRe4

『「寝た子」はネットで起こされる！？』お求めはこちら ↓

<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/item-detail/1428113>

(6) 『全九州水平社創立 100 周年記念誌』発売中！

お求めはこちら ↓

II <報告>

(1) 部落問題部会 第5回研修会（貞永）

3月2日（土）（於福岡市教職員組合東部事務所）

1. 『青年の環』（野間宏）紹介 報告者：黒木香代子さん

資料をもとに「青年の環」の内容とその中に描かれた部落差別の問題について報告していただきました。全5巻・6部原稿用紙8000枚という大作で、研修会参加者で野間宏の作品を読んだことがある方でも、この作品を読んだ人はいませんでした。しかし、黒木さんより時代背景、登場人物、内容、印象に残る場面等の説明をしていただくことで、その作品のスケールの大きさと、野間宏が実体験を通して何を描きたかったのか感じることができました。参加者からはそれぞれの体験をもとに、解放運動とそこに関わった人たちに関して、野間宏が伝えたかったこと、今まで語られてきていたなかったものについて多くの感想や意見が出されました。

・野間宏さんの名前はよく聞きますが読んだことありません。ぜひ読みたいですが、最初から「青年の環」はハードルが高いので沖浦さんとの「日本の聖と賤」から始めたいです。人間は弱かったり、間違ったりするのが当たり前だと思いました。そんな中でどこで踏ん張るかだと思います。戦争の中で踏ん張った水平社、そこで生活を守ってきた生きた人、虐げられた中でも生き抜いた人から学ぶべきはたくさんあると思いました。

・はじめて「青年の環」の内容を知りました。主人公の一人矢花正行の視線から語られる登場人物の姿は、私の体験を思い起こさせる内容もあり、お話を聞きながらいろいろ考えさせられました。また、この小説に描かれている内容は、本当は社会の問題であるという捉えで、すべての人が深く考えるべき問題であったのに、いつのまにか置き去りにされてきた、そんな内容ではないのかと感じました。

2. 「井元麟之・その人と思想」第5回～大学での授業内容から～ 報告者：貞永靖さん

大学で行われている「人権・同和問題」の授業内容から、実際に授業で使用している資料をもとに人権について、部落差別についてどう教えているのかを報告していただきました。また、授業の中で井元麟之のことをどう位置付けているかについてもお話をいただきました。

・自分の問題だと気づくことは可能だと思います。きっと自分の体験をしっかり掘り起こして、仕組みとしてとらえることができたら、自分の問題と感じができると思います。もしできるなら講義を受けてみたいです。

・部落史だけでなく差別の構造など考えさせる講義の組み立てになっていて、学生さんの考え方の深まりが伝わってくるようでした。中学校では人権学習に関しては、教員の側が対話して引き出していく力量が足りてなくて、マニュアルをたどる授業になりつつある現状があり、授業力を若い先生と共に鍛えていかなければならぬと思います。

※次回の活動予定：未定

III <新規受入図書の紹介>

『生きづらさの民俗学 日常の中の差別・排除を捉える』

編著者：及川祥平、川松あかり、辻本侑生

出版社：明石書店

発行年月日：2023年10月15日

『新修 福岡市史 民俗編三 夜』

『新修 福岡市史 資料編 古代1 文献資料1』

編者：福岡市史編集委員会

出版社：福岡市

発行年月日：2023年3月31日

※以下の研究所サイト（イベント・部会等）はGoogle、Edgeでは表示に不具合が生じるため、Firefoxというブラウザでご覧下さい。

Firefoxのダウンロードは以下のサイトからお願いします。↓

<https://www.mozilla.org/ja/firefox/windows/>

・イベント

<http://www.f-jinken.com/event.html>

・部落史部会

5月11日（土）「内容未定」

<http://www.f-jinken.com/activity/burakshi.html>

・教育部会

4月13日（土）「2024年度教育部会活動計画について」

<http://www.f-jinken.com/activity/kyoiku.html>

・ジェンダー部会

4月14日（日）「森崎和江『匪賊の笛』を読む学習会⑤」

<http://www.f-jinken.com/activity/gender.html>

・外国人部会

<http://www.f-jinken.com/activity/gaikokujin.html>

・啓発部会

<http://www.f-jinken.com/activity/keihatsu.html>

・海外人権スタディツアーフ企画部会

<http://www.f-jinken.com/activity/kaigaistudy.html>

・部落問題部会

<http://www.f-jinken.com/activity/burakumondai.html>

・特別プロジェクト「松本治一郎・井元麟之」研究会

<http://www.f-jinken.com/activity/project1.html>

〔人権研究所 書籍販売〕

新刊『「寝た子」はネットで起こされる！？—ネット人権侵害と部落差別—』（川口泰司著）

新刊・既刊のお求めはこちらから↓

<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>

当研究所 HP、コラム「羅針盤 PART II」

<http://www.f-jinken.com/index.html>

研究所フェイスブック

<https://www.facebook.com/fukuokajinken/>

☆ニュースのバックナンバーは下記研究所公式サイトでご覧いただけます。

<http://www.f-jinken.com/newsliberacion.html>

◇みんなの投稿お待ちしています。

info@f-jinken.com (登録解除はこちらから)

【公益社団法人福岡県人権研究所は、会員の会費で運営されています。】